

高校阿倍野新聞
の目的は民主的な考え方
に習熟し学校・PTA協力して
幸福な学校を作るにある。生徒間
の諸問題に対し積極的に批判を加
え且つ校長並に教職員に生徒の意
志を伝え、またクラブ活動を通じ
て会員相互の親睦を計る」これは

「話が掛かってきて自治会役員が
言うまでもなく自治会規則第2章
第2条に述べられており、自治会
一人もない時があつたし、また誰を投票するかを決める時、頗る的的な考え方で選ぶ」とある。しかし他校から自治会室を訪問して来られた方が良いから、気が向いたらどうはないのか。その為に代表者のことについてある程度の知識を

そのうちのどれ一つもとつてみて、最も会員に対する愛い当たる節だ。

その反面、生徒側すなわち我々のないのは一体どに欠陥がある

自治会員にも自治会に対する無のよう

の無関心さが、自治会低調の大

きくないような行動をとつてほ

最近、自治会活動の不活発さが

開心さがうかがわれる。選挙をみ

ても金の力は強。

部 説

卒業生諸君に
期待する

諸君の年代は人間成長の過程からいつ、人生における一つの時代期である。苦しいけれども、時代に向こうにあるであろう理想に対して胸をふくらませてい

ることと思う。しかし現実の社会には理想の実現をはばむ要素が多く複雑で時にむじゅんざく感じさせる実社会は、諸君の意のままにはならぬであろう。おとなは

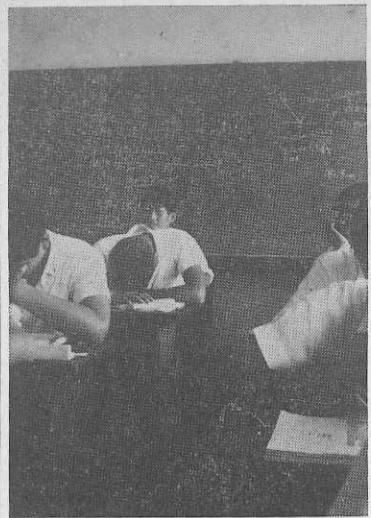
て、複雑で時にむじゅんざく感

じせる実社会は、諸君の意のま

まにはならぬであろう。おとなは

昭和42年2月25日(土曜日)

高校阿倍野新報



受験地獄をくぐりぬけて、この
阿倍野高校にあたって入学。ホッ
と安堵の息を一息つこうかなと思
つたら……イヤイヤ高校生活はそ
うは行きませんでした。体育授業
の一時間目からシゴかれ、又、他
の先生方からは「勉強しなっちゃ
落第するぞ、落第するぞ」とおど
し続けられるしまつ。イヤハヤ授
業第一日目からまいりました。

三十九年八月
電燈設置

工費百千万円をかけて、一教
室につき電球七本の割合で、電
燈が設置されました。「デントウ
があつてでんどうのない学校」と
言う慣用句にもおわかれ。「アア
これから、雨の日にも勉強しな
くならんのか」と、この不名
譽な慣用句に別れを惜しんでいた
人、もあつたとか。とにかく、雨の
日もまたも授業を受けられるよ
うになりました。

三十九年十月
東京オリンピック開催

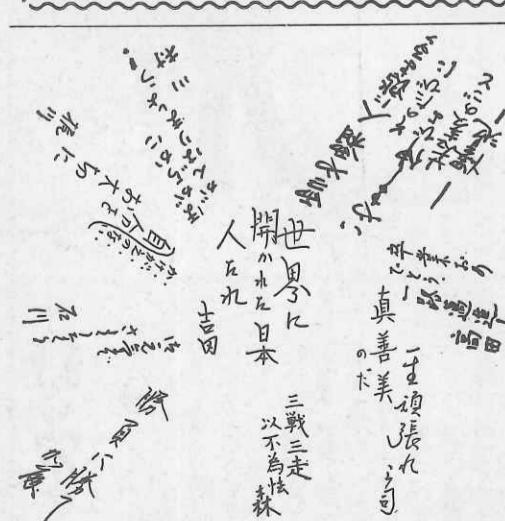
十日十五日午後一時、日本全国
いや、世界各国からつめかけた大
観衆で、立派な国立競技場で、高
校の選手団が、自國の民族衣装
をまつたり、スマートなユニ
iformをつけ入場行進している
姿が、まだ頭の中に浮かんでる
でしよう。体育の時間なほ、み
んなテレビにかじりついでいま
したね。しかし、オリンピックもい
よいよこれからが本番という所で
血も涙もない、アベ高の先生方の
高生故、必死に勉強したら、ほと
んどテレビを見る事ができませんでした。本当に残念でした。

卒業生に望む

昭和39年の4月
入学されてから
はや3年、人生の
一つの味、高校を
越される皆さんに
一言。
■第一に望むこと
皆さんはいま
校を一歩出て社会
に入ろうときれて
います。
■第二に望むこと
皆さんには、皆さんのOBの方
が卒業して行かれる姿を見てど
う思われましたか。淋しい思い
がしたでしょうか? それでも気
持が引き継ぎましたか? 私達
はいま裏立つて行かれる皆さん
を見ていって、心強い思いがしま
す。なぜなら皆さんは私達在校
の荒波に、あるいは
新しい学生生活

それぞれ目的の
ある道を…

■第三に望むこと
皆さんには、皆さんのOBの方
が卒業して行かれる姿を見てど
う思われましたか。淋しい思い
がしたでしょうか? それでも気
持が引き継ぎましたか? 私達
はいま裏立つて行かれる皆さん
を見ていって、心強い思いがしま
す。なぜなら皆さんは私達在校
の荒波に、あるいは
新しい学生生活



スポーツ用品・服装専門店

信用と廉価を誇る

大阪スポーツ

アベノ区アベノ筋6-5
TEL (62) 4351

うまい! 安い!

うま

南海上野線
大阪和泉
シタリ線

お好み焼き・焼きソバ

思い出の高校生活

三十九年四月に入学された皆さん方も今日をもつて卒業される頃ですが、モヤモヤのまま消えてしまった日

の丸問題、残酷なベトナム戦争、米ソの月面競争、また衆議院の黒い霧問題、

田中代議士の汚職問題等々この三年の間にいろいろありました。

これもまた出来事はあればきりのないものですから、その一部を取り上げてこにまし

めてみました。

三十九年四月

本校へ入学

三十九年十一月

国旗掲揚問題

四十一年十月

国体出場

体育大会

四十年五月

<p

新旧執行部によせる

阿高生の批判と期待

後期執行部に期待

低調からの脱出を

執行部員の選挙が行なわれ、執行部への批判や期待が聞かれる。新聞部では、その批判や期待、それと会員の自治会への知年中行事について前もってきっちりした計画をして、はじめをつけてやつぱし。

・クラスマッチなどで、団体ゲームをやしてほしい。

・数をふやすよりも、一つ一つを充実させて、愉快なものにして下さい。

・住校戦をもっと活発に。

・事前に大きめを発表して、自治会会員へのよびかけを強化してほしい。

・立候補者が各職人すつでも、気を高めよ。

・低調だからといって、規模を小さくするから、より低調になるのだから、規模を大きくしよう。

・公約なり、考え方なりを、もうと明らかにさせよ。

・対立候補が出来るよう、努力して下さい。

読まれない会則

生徒手帳の自治会会則からいく緊急議会を開くことがある。この点について書き出し、アンケートで、諸君がそれを知っているか否かを調査した。だが、およそ半数以上の人があれらの事について知らなかった。という結果が出た。

自治会員の構成や、執行委員会議が開かれ、必要に応じて即を読み、議会について予算に

とほしかつた責任感

前期執行部への批判は、非常に強く、後に書くような点が確かにあつた。たゞ、その原因には、我々一般会員の、非協力的な態度や、無関心さなどもあったのではなかろうか。これらの批判が出たのを機会に、後期執行部に大いに協力して、りっぱな自治会にしてもらいたい。

・執行部員が、後半では、自治会室にいないうことが多々あった。

・役員の特権乱用が目立つた。

・道具類が執行部の仕事の

・年中行事だけが執行部の仕事の

校内の大に改造しよう

生物室改造

十一月二十八日(水曜日)から生物室改造工事が始まった。原因は、数年前から床がずれて困る。この冬休みを利用して修理しようというのである。完成は一月の終りの予定だったが、少し遅れた。そこで、二月八日(水曜日)に完成した。以前とくらべて、とても明るくみちがえるように美しくなった。授業も気持ちよく受けられることがある。それによって

新築された更衣室

生物室の新築工事を着工したところから、更衣室の工事も始まつた。完成予定日は、三月二十八日(水曜日)である。現在阿倍高には、小さな更衣室が男子用、女子用と二つ体である。また、男女とも女子が使用している。男子はかわいそうなものである。風がピューピュ吹く時でも運動場で着かえなければならなかつた。

訪問 茶道クラブ

静かなふんき

地道に練習に励んでいる茶道部を訪問した。

一年が一人、二年三人、三年が五人の計二十八人の部員。

練習日は月・水・金曜の週二回だが、自

由参加なので、部員は

束縛されることがない。

練習は、部員がお

茶を立てる

側と飲む側に別れ、最

初から作法

なんとかしてほんらい。

通りやつていくのだそうだ。

のクラブでの第一の心得は、作

身のこなし方がつけられ、

数多く、初めからはじめて

お茶を飲みに来て下さい」と言

ふうだ。しかしながら者は數

積極的にまちがつている時は

つていた。

投書

S・T

自治会運営を明るに

S・T